

日野消防署新聞

してありますか？地震への備え

家具類の転倒・落下・移動防止対策

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源として最大震度7を観測した能登地方地震が発生しました。

この地震は死者200名以上、負傷者1200名以上が発生し、避難者は3万人を超え、今も避難生活を強いられている方が多くいます。

強い地震が起こると、揺れとともに家具類が倒れたり、窓ガラスが割れたりして、ケガをする方が増えます。


家具類の転倒・落下・移動防止対策など、あなたには地震へ備えていますか？

地震だ！ 身の安全

してありますか？
家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防 検索



東京消防庁

住まいに潜む危険

火災による死者のうち

65歳以上の割合は8割

令和3年中の東京消防庁管内の火災による死者は、69名でした。その内、約8割にあたる54名が65歳以上の高齢者です。

また、東京都が令和4

年5月に発表した「首都

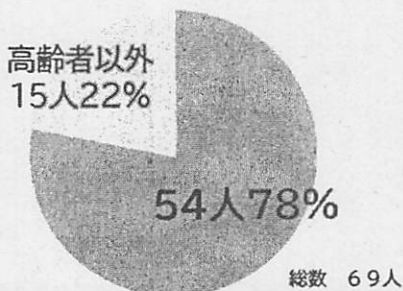
直下地震等による東京

の被害想定」

によると、地震における全ての死者の約6割が要配慮者として想定されています。

要配慮者とは、高齢者、障害者、乳幼児その他特に配慮を要する方をいいます。

『住まいに潜む危険を見直してみませんか？』



住まいの防火防災診断

当たり前の日常に潜む

火災、地震、日常生活事故の危険

消防職員がお宅に訪問し、アドバイスします

- 高齢者や障害者の方などを対象としています。
- 診断にかかる時間は約30分、無料で診断します。

こんな危険を見つけます！



ご希望の方は日野消防署又は豊田出張所、高幡出張所までご相談ください。